

目次

- 「読書の秋」深まる!(秋の「読書週間」の取組) …P2
- 読書団体紹介、未来へつなぐ神話・民話
継承人財育成事業 …P3
- 「名誉館長(伊藤一彦氏)おすすめの本の
紹介、図書館イベント情報 …P4

※緑陰通信は県立図書館のホームページ
(<http://www2.lib.pref.miyazaki.jp/>)からもご覧いただけます。

平成28年度 県立図書館主催事業

牧水が見た風景

～伊藤名誉館長と訪ねる牧水のふるさと～



11月8日(火)、前日に立冬を迎えたこの日、当館が企画した郷土の歌人「若山牧水」が生まれ育った日向市東郷町坪谷を訪れるバスツアーを実施しました。職員を含め総勢34名、定刻の朝8時40分に図書館西側の駐車場を出発。途中、牧水も訪れた美々津にも立ち寄り、日向灘の眺望や町並みを楽しみながら、耳川沿いに牧水のふるさと坪谷の地を目指しました。

現地では一足先に到着されていた当館名誉館長で、若山牧水記念文学館館長でもある歌人の伊藤一彦先生の出迎えを受けました。午前中は牧水生家や牧水とその最愛の妻喜志子夫人の歌が並んで刻まれた歌碑を見学。名誉館長と若山牧水記念文学館の荒砂学芸員から数々のエピソードを交えながらの説明を受け、皆さん深く頷いていらっしゃいました。目の前に連なる美しい尾鈴山塊とその山あいを縫って流れる坪谷川の清流を目にして、人間牧水をより深く、そしてより身近に感じていただけたようでした(計画では裏山の歌碑も見学予定でしたが、裏山は台風により一部崩落していたため見学できませんでした。一日も早い復旧をお祈り致します)。

お昼は牧水公園内の牧水庵で名誉館長お勧めの"そば定食"。地元のそば粉で打った十割そばに舌鼓。牧水庵の皆さん、心のこもった美味しい料理をありがとうございました。

午後は平成17年に開館した若山牧水記念文学館へ。最初にエントランススペースで名誉館長から歌人としての牧水についてご講話をいただき、その後、館内の展示資料を見学しました。数多くの貴重な展示資料にはそれぞれ丁寧な説明文がついていますが、今回は名誉館長のとっておきのお話を交えた解説が加わり、一点一点の資料についてより深く理解していただけたのではないかと思います。同館には若山牧水の他にも東郷町出身の詩人で、中原中也とも親交があった高森文夫の展示室等も設けられており、皆さん熱心に見学されていました。その後、名誉館長による短歌講評。希望者にお昼の休憩時間までに短歌を創作していただき、そのすべてに講評をいただきました。名誉館長直々の講評は、情景の解説に加え、短歌の作法などにも及び、皆さんとても喜んでいらっしゃいました(同行職員一同、皆さんの名作に脱帽!)。最後は名誉館長と文学館の黒木事務局長のお見送りを受け、午後3時過ぎに坪谷の地をあとにしました。

こうして坪谷での時間はあっという間に過ぎていきましたが、この地に生まれ、豊かな感性で数多くの歌をのこした牧水という一人の歌人の生き方に触れるとともに、人間牧水を育んだ彼のふるさと坪谷の魅力も再発見していただけた一日になったのではないかと思います。



「読書の秋」深まる！（秋の「読書週間」の取組）

みどりの図書館フェスタを開催しました！



10月27日から11月9日までの秋の「読書週間」に合わせて、県立図書館では11月3日（木）の文化の日に、恒例の「みどりの図書館フェスタ」を開催しました。

青空がまぶしい秋晴れのもと、南側玄関そばの屋外特設ステージをメイン会場として、さまざまなステージプログラムを披露しました。

- ★ 絵本とのコラボも実現した「G音楽たい」による吹奏楽のコンサート
- ★ 学生ボランティアたちの息ぴったりの読み聞かせ
- ★ 高校生と大学生のバトラーで繰り広げられたビブリオバトル など

さらに図書館内では、

- ★ 好きな材料を使ってできるオリジナルしおり作り
- ★ 手軽な木工工作や環境にやさしい木のおもちゃを楽しむ木育イベント
- ★ 図書館内を探検しながら答えるクイズラリー

といった、工夫を凝らした参加体験型のイベントを同時開催。



G音楽たいの演奏(左)、学生ボランティアによる読み聞かせ(右)



みやざき犬ステージの様子



ビブリオバトルの様子



木育イベントの様子

エンディングにはみやざき犬も登場。最後のお楽しみ抽選会までたくさんのご来場があり、とても盛り上がった一日となりました。

このフェスタをとおして、図書館をもっと身近に感じ、本や読書の大切さと楽しさを再発見していただけたのではないかと思います。

フェスタにお越しいただいたみなさまをはじめ、ボランティアスタッフやご出演の方々も、ありがとうございました。

特別展示～ 秋の「読書週間」で『いざ、読書。』

秋の「読書週間」期間中、館内では特別展示を行いました。

「おすすめの本」、「おすすめのフレーズ」紹介コーナーでは、その本を読んでみたくなるような素敵なポップ（紹介文）を利用者の方々からたくさん頂きました。同じ本について違う角度からの紹介文があり、読書の奥深さを感じさせられました。閲覧室には常設で職員のポップをつけた図書コーナーもございますので、是非ご覧ください。



館内特別展示の様子

その他にも第61回青少年読書感想文全国コンクールの内閣総理大臣賞受賞作品5作品を展示し、児童・生徒の豊かな感性を感じていただきました。また「いざ、県立図書館」コーナーでは、レファレンスサービスなど、県立図書館サービスの紹介を展示しました。

まだまだ夜長の季節が続きます。「いざ、読書。」いざ、図書館。お待ちしております。

◆書名『ぐりとぐら』

◆著者名 ながわきみこ

◆紹介文・印象に残っているフレーズ等

カステラがおいしそうで、本を見ていて動物の一員になって一緒に食べたいほどで本からいい香りがしてきそうでした。最後、玉子のカラを車にして帰るぐりとぐらの絵もかわいいです。 男性30代

利用者から頂いた「おすすめの本」の紹介(例)

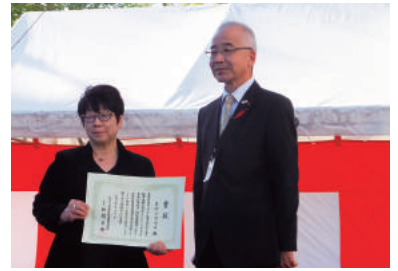
読書団体紹介～「まほうのつえ」(延岡市)

延岡市で活動する「まほうのつえ」は、野田一穂さんを代表に、市内で活動する読み聞かせボランティアの勉強会を目的とする団体で、読み聞かせの後継者育成から学校における読書活動支援にいたるまで様々な活動をとらして読書普及に貢献されています。

また、最近では地域で「怖い朗読会」、「映画館でのストーリーテリング」など様々なイベントを企画して、地域の文化の向上や活性化に寄与されている団体でもあります。

先日行われた「みどりの図書館フェスタ」では、「読書週間」行事の一環として、(公社)読書推進運動協議会より優良読書グループの賞が授与されました。表彰式後には、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングを披露していただき、フェスタ来場者を楽しませていただきました。

「まほうのつえ」の皆さんの、ますますのご活躍が期待されます。



図書館フェスタで表彰される野田氏(左)

未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業

県立図書館では、地域に伝わる神話や伝承など、本県の価値ある言語文化を未来へつなぐことを目的に、「未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業」に取り組んでいます。昨年度までは「次世代につなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」として行われ、今年度も各地で「語り部養成講座」や神話、民話に関する講演会を行ってきました。

○講演会

講演会は、県内2箇所の会場(川南町・都城市)で神話編・民話編とそれぞれ実施されました。6月は、神話編で宮崎県立看護大学教授の大館真晴氏を講師として、各地域の神社等につまわる興味深い話について講義されました。参加者からも「自分の生まれ育った土地のことをきちんと知りたいと思った。」「神話から古代の宮崎の歴史を楽しく学ぶことができました。」といった感想が寄せられています。また、9月には民話編として、元南九州大学教授の矢口裕康氏を講師として、「宮崎県民話のすばらしさを発見しよう」という演題で県内の民話の特徴などを分かりやすく講義されました。参加者からは「宮崎の民話の豊かな世界を知ることが出来た。」「改めて宮崎の民話が知りたくなりました。」といった声がありました。



大館氏による講演会の様子

○語り部養成講座

語り部養成講座(全4回)を今年度は都城市と川南町で開催しました。

第1・2回は、神話・伝承、第3・4回は民話に関する講座となっています。それぞれ演習もあり、知識だけでなく、自ら実践する力も身に付ける講座となっています。

受講者の方から、「楽しく学習できた。宮崎に生まれたことをもっと誇りに持ちたい。」「生活している地域のことをほとんど知らなかったが、これから興味を持って学んでいきたい。」「受講者の方の語りを聞いたり、自分も語ったりすることで、貴重な経験をすることができた。」「語り部の面白さは、語り継ぐこと。語りを自分のものになりたいと思います。」といった感想を頂きました。

養成講座修了後は、更なる実践を積み、それぞれが学び身に付けたことを、さまざまな形で生かし、本県の価値ある言語文化を次世代に語り継ぐ活動がますます推進されることを期待しています。



語り部養成講座における演習の様子

語り部のつどい2016開催!!

※興味のある方は、どなたでも参加いただけます。
※定員に満たない場合は、当日参加も受け付けます。詳しくは普及支援担当(0985-29-2956)までお問い合わせください。

① 日時

平成28年12月10日(土)
開場 午前 9時30分
午前の部 午前10時00分～午前11時45分
午後の部 午後 1時00分～午後 3時10分

② 会場 県立図書館2階研修ホール

③ 参加料 無料

④ 定員 150名

※昼食は各自で御準備ください。

午前の部



- 神話・民話語りの発表
- パネルディスカッション「語り部の今とこれから」
・コーディネーター 宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴氏
- ・パネリスト 宮崎市神話・観光ガイドボランティア協議会 岡田 勝運氏、宇都 裕子氏
都城語り部おかしむじ会 竹原 由紀子氏
語りの発表者2名

午後の部


- 講演会「天照大御神の生誕地・日向神話の魅力」
・講師 皇學館大学 教授 毛利 正守氏

「名誉館長(伊藤一彦氏)おすすめの本」の紹介

4月から開設した「名誉館長(伊藤一彦氏)おすすめの本」のコーナー。これまで、計3回、9冊の本が紹介されました。大変な人気で、「貸出中」のことも多いのですが、ご希望があれば予約も入れられます。ぜひ一度、ご覧ください。今後いろいろな本が紹介される予定です。どうぞお楽しみに!

第1回 おすすめの本	「セラピスト」 「追憶の風景」 「満洲難民」	最相葉月／著 福島泰樹／著 井上卓弥／著	(新潮社) (晶文社) (幻冬舎)
第2回 おすすめの本	「旅の人、島の人」 「不可能」 「黄昏客思」	俵万智／著 松浦寿輝／著 松浦寿輝／著	(ハモニカブックス) (講談社) (文藝春秋)
第3回 おすすめの本	「日本文学全集 12」 「下り坂をそろそろと下る」 「神のパズル」	池澤夏樹／編 平田オリザ／著 大口玲子／著	(河出書房新社) (講談社) (すいれん舎)

図書館イベント情報



県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。
宮崎県

	行事名	日時・会場等	内容等
12月	子ども映画会⑧	12月6日(火) 10:00～ 2階視聴覚室	チルビー6「ターちゃんのでぶくろ」 レオ・レオニ「フレデリック」他2作品(計27分)
	語り部のつどい2016	12月10日(土) 10:00～15:10 2階研修ホール	神話・民話等に関するパネルディスカッション、 講演会など(※詳細はP.3)
	古文書講座②	12月17日(土) 10:00～12:00 2階視聴覚室 ※時間帯が変更になりました。	「萬葉書を読む」(2回目) 講師:大賀郁夫氏(宮崎公立大学教授)
	緑陰コンサート④	12月18日(日) 13:00～15:00 2階研修ホール	冬のレコードコンサート
	子ども映画会⑨	12月23日(金) 10:00～ 2階視聴覚室	「小公女セーラ」(90分)
	図書館シアター⑪	12月23日(金) 13:30～ 2階視聴覚室	「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」 (96分:日本 2012年)
1月以降	テーマ展「酉(とり)」	1月24日(火)～2月12日(日) 2階特別展示室	2017年の干支「酉」にちなんだ資料を紹介する 展示
	子ども映画会⑩	1月28日(土) 10:00～ 2階視聴覚室	「グスコブドリの伝記」(57分)
	図書館シアター⑫	1月28日(土) 13:30～ 2階視聴覚室	「スターダストの女王」 (98分:アメリカ1974年)
	図書館シアター⑬	2月28日(火) 13:30～ 2階視聴覚室	「育子からの手紙」 (106分:日本 2010年)
	緑陰コンサート⑤	3月12日(日) 13:00～15:00 2階研修ホール	春のレコードコンサート

※諸事情により日時や内容等が変更になることがあります。

ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00
■児童図書室：9:00～17:00

休館日 ■毎週月曜日(祝日の場合翌日)
年末年始：12/29～1/4
特別整理期間：2/13～2/20

編集・発行

● 宮崎県立図書館

住所 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1

T E L ■0985-29-2911 (総務・企画課)

F A X ■0985-29-2491 (総務・企画課)

HPアドレス ■<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp>

携帯アドレス ■http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i_index.htm

